

- ◆企画名 自分だけの年賀状を送ろう
日 程 2018年12月22日(土)
場 所 総合学生会館凜風館1階 ピアエリア
参加者数 20名(ピア・サポーター2名、研修生1名、一般学生7名、留学生10名)
目 的

毛筆で年賀状を書くことや、百人一首を使って坊主めくりをするという日本のお正月の文化を体験することで、日本人学生と留学生の交流を深めること。また、実際に遠く離れた家族、友人に年賀状を送ることで、学生生活の様子を知ってもらう。

内 容

- 13:00 参加者受付
13:30 自己紹介、アイスブレイク
14:00 年賀状作り開始
15:10 ゲーム、プレゼント配布、記念撮影
おわりの挨拶、アンケート回答
15:30 参加者解散、片付け



効 果

- ・参加者を来た人から順番にくじで座席を決めて、1グループを4人、5人にしたことで、参加者同士が交流しやすくなり、友達の作りやすい環境になった。
- ・グループ対抗で、クイズを行うアイスブレイクをすることで、チーム意識が芽生え、参加者同士の交流が深まった。
- ・参加者手作りの年賀状という、留学生が日常では体験することがない方法で、遠く離れた家族、友人に送ることによって、学生生活の様子を知ってもらうきっかけになった。
- ・毛筆を使った年賀状作りだけでなく、百人一首を使った坊主めくりや、半紙を使う体験をしてもらうことで、さまざまな日本のお正月文化を知り、かつ参加者同士が交流することができた。

改 善 点

- ・イベントを行った場所が騒がしかったため、スタッフの話していることが聞こえにくかった。
→ジェスチャーを加えて、大きな声で話す。イベントに適した会場を利用する。
- ・参加者に内容を説明する際、「宛名」「半紙」という日本語が伝わっていなかった。
→普段、留学生が聞くことのない日本語に対しては、日本語で説明をした後、英語で説明をする。また、口頭で説明をするだけでなく、留学生が理解できるように、日本語の解説をしたプリントを配布し、理解を深めてもらう。
- ・片付けの時間を考慮していなかったため、当初予定していたゲームの時間が短くなった。
→予定している内容を着実に実行することができるのかタイムスケジュールを作り、事前に予測しておく。

感 想

年賀状作りだけでなく、日本のお正月の遊びも体験して楽しんでもらえたと思う。不足している準備物もなく、ほぼ予定通りに進行できて良かった。